

あ と が き

令和4年度の「事業年報」(第55号)をお届けします。この年報から紙ベースを改め協会のホームページに載せる形に変えさせていただくことになりました。新たな形式に移行するにあたって担当した皆さんご苦勞様でした。これまでの「手に取って年報のページをめくる」から、恐縮ですが今後は「パソコンの画面で操作する」に変えていただくこととなりますが、よろしく願いいたします。

令和4年度は引き続き新型コロナウイルスの影響は残りましたが、地域保健分野のがん検診を除いて、産業保健、学校保健分野など事業件数はほぼ回復してきました。特に母子保健分野では新生児マススクリーニングで重症複合免疫不全症(SKID)、脊髄性筋萎縮症(SMA)の拡大スクリーニングが開始され、県内出生の4割の新生児に検査が行われ、協会の事業拡大にもつながりました。環境保健分野でも労働安全衛生法の改正に伴う検査の拡大、令和5年度からのマスクフィットテストへの準備に取り組みました。

また令和4年度は個人情報保護活動に関してプライバシーマーク認定の更新審査がありました。無事合格しましたが、昨年度はいくつかの個人情

報漏洩があり再発防止に改めて取り組みました。令和4年度に生じた安倍首相の襲撃事件、知床遊覧船沈没事故、山口県阿武町の4,630万円の誤送金などを振り返ると、それぞれ警備の手薄、出船の基準のあいまいさ、送金の手順のチェックの甘さなどがあげられます。協会の起こした個人情報の漏洩に関してもそれぞれに作業手順の不備が重なっていました。教育、研修を定期的に繰り返すことは欠かせませんし、仕事に集中することは大切ですが、そうしたことに原因を求めても限りがあります。人の力に頼りすぎずに更にIT化を進め、機械的チェックを推進することが急がれました。

協会は新生児から高齢者まで健康増進の支援の拡大、充実をはかり、業務の精度を上げ、安全、安心な受診となるようより一層努めてまいります。

新たな年報の見やすさ、使い易さにご意見いただけますようお願いするとともに、今後とも協会の活動にご支援、ご指導をよろしくお願いいたします。

(令和5年12月 集団検診センター所長 大崎逸朗)

令和4年度 事業年報 第55号 令和6年1月発行

編集人 大 崎 逸 朗
 発行人 根 本 克 幸
 発行所 公益財団法人 神奈川県予防医学協会
 〒231-0021 横浜市中区日本大通58 (日本大通ビル)
 電話 045 (641) 8501
<https://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp/>
 印刷 株式会社 クレコミックス
 〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-7-10
 関内駅前マークビル4F
 電話 045 (308) 0020